

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	情報・社会と情報	学年	第3学年	教科書	実教出版「最新社会と情報」
		単位数	2単位	副教材	実教出版「最新社会と情報学習ノート」

学習目標
 情報化社会が進展していく中で、自然との調和・社会への参画・人とのつながり・個人のあり方等を、理解できる力・実践する力・評価する力を形成し、公序良俗に反することなく豊かな社会の創造を実現できる確かな学力の習得を目標とします。

学習方法
 ○ 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行います。
 ○ 授業においては学習ノートを利用します。
 ○ コンピュータを使って課題・作品を作成し、提出してもらいます。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	①	関心・意欲・態度	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	
	②	思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	
	③	技能	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	
	④	知識・理解	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。	
	⑤			

評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解	⑤
授業への取り組み	○				
定期試験		○	○	○	
作品・課題提出		○	○		
課題解決学習	○	○	○		
観点別比重	20%	20%	30%	30%	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	オリエンテーション	1		コンピュータ教室でのマナーと基本操作	①コンピュータ教室でのマナーと基本操作を理解している。	・観察
	第1章 情報社会と私たち	4	情報社会	情報社会と情報	①情報社会の様々な事柄に対して関心を持って取り組み、積極的に情報を収集しようとしている。 ②情報化の光と影について具体例を挙げ考察することができる。 ④データや情報、知識といった用語について正しく理解をし、違いを認識している。	・定期試験 ・実習への取り組み ・実習課題 ・学習ノート
				情報化の光と影		
		4	情報社会の個人	個人情報とその保護		
				情報を扱う責任とモラル		
		4	情報とメディア	情報の特徴		
				メディアの特徴 メディアリテラシー		
	第2章 情報機器とデジタル表現	4	デジタルと情報機器	アナログとデジタル	①デジタル表現について関心を持って積極的に情報を収集しようとしている。 ②アナログとデジタルの違いについて考察し、デジタルによる表現方法の利点について考え、表現方法を理解している。 ③2進数による表現、画像・音声のデジタル表現について簡単な例について標準化・符号化等を行うことができる。 ④情報機器の種類や特徴、仕組み等を理解している。	・定期試験 ・実習への取り組み ・実習課題 ・学習ノート
				情報機器		
		5	デジタル表現	2進数と情報量		
数値・文字の表現						
音声の表現 画像の表現 情報のデータ量						

2	第3章 表現と伝達	4	表現の工夫	わかりやすい情報伝達	①情報伝達や表現のためのソフトウェアについて関心を持ち積極的に課題作成に取り組むことができる。 ②様々なソフトウェアにおいて、自分の作りたいものを作成しその表現方法を工夫することができる。 ③様々なソフトウェアを利用する上での操作方法や表現手段を身に着けることができる。 ④様々なソフトウェアについて、特徴を理解し、自分の表現に役立てるための知識を身に着けている。	・定期試験 ・実習への取り組み ・実習課題 ・学習ノート		
				企画書の作成				
		6	表計算ソフトの利用	データの入力				
				グラフの作成				
				データの抽出				
				関数と引数				
	5	プレゼンテーション	プレゼンテーションとは					
			多様な表現メディアの利用					
	2	Webページの利用	Webサイトの制作					
			Webサイトの評価と改善					
	第4章 コミュニケーションとネットワーク	4	コミュニケーション	発達と歴史			①コミュニケーションやネットワークについて、興味関心を持ち、積極的に情報を収集しようとしている。 ②ネットワーク上のコミュニケーションについて、またインターネット上のサービスを利用する上での守らなければならないルールやマナーについて具体例を考え、考察することができる。 ④コミュニケーションの分類やネットワークの仕組み、データ圧縮の仕組み等について理解することができる。	・定期試験 ・実習への取り組み ・実習課題 ・学習ノート
				さまざまなコミュニケーション				
ネットワークのコミュニケーション								
守らなければならないルールとマナー								
5		ネットワーク	ネットワークの特性					
			インターネットの仕組み					
			インターネットのサービス					
			転送速度とデータ圧縮					
第5章 法規とセキュリティ	5	情報の管理・保護に関する法律	知的財産権	①知的財産権や情報セキュリティ技術について、自分のこととして捉え、積極的に情報を収集しようとする。 ②知的財産権について、それぞれの具体的な事例をあげ、権利を守るための考察ができるようになる。また、情報セキュリティ技術について具体例を考え対策の必要性を考察することができる。 ④知的財産権や情報セキュリティについて正しい知識を身に着け、具体例を考え理解を深めることができる。	・定期試験 ・実習への取り組み ・実習課題 ・学習ノート			
			さまざまな法律					
	4	情報セキュリティ	情報セキュリティ技術					
			情報セキュリティポリシー					
第6章 情報社会と問題解決	5	情報システムと人間	社会における情報システム	①現在の情報社会において情報システムを導入する利点や課題について積極的に情報を収集しようとする。 ②課題解決学習において、課題を自ら見つけ、それを解決するための手段と表現方法を考察し、他者に向けての表現方法を工夫することができる。 ③課題解決学習の手法について、実践し、事故の問題解決の手段として利用することができる。 ④情報システムの利点・課題を理解し、またそれを解決するための手段を理解することができる。	・定期試験 ・実習への取り組み ・実習課題 ・学習ノート			
			人に優しい情報システム					
			情報社会の課題					
	8	問題解決	問題解決の手順					
			問題解決の手法					
			アンケートの利用					
問題解決の実践								
合計時数(50分授業)	70							